wagamachi-guide book

市川三郷町六郷編

日本一大きなはんこを見て、 昭和の木造建築を訪ね、 つむぎの湯でぽっかぽか



ぬりえにチャレンジ!



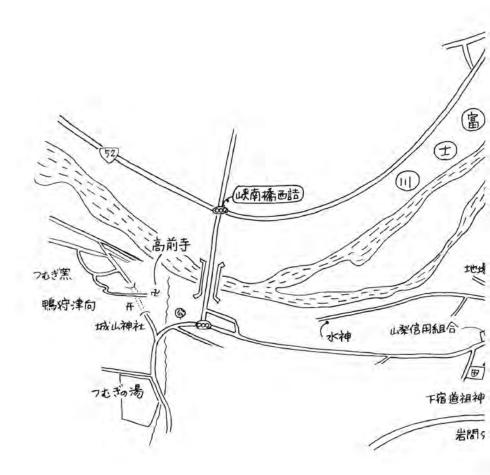
行程案

甲斐岩間駅 池川履物店 岩間タクシー 開運社 富士見ふれあいの森公園 金刀比羅神社 地場産業会館 酒屋・春港堂 山梨信用組合 下宿の六地蔵横の石幢 富士川沿岸 富士川渡し場跡 鴨狩隧道 つむき窯 城山神社 岩水山高前寺 つむぎの湯

市川三郷町六郷編

日本一大きなはんこを見て、 昭和の木造建築を訪ね、 つむぎの湯でぽっかぽか





ンコの町を美しく保っています。

代中国の字体・篆体(てんたい)です。 成七(一九九五)年、甲斐岩間駅の前にハン 全国の印章の約半分を生産しています。平 イレ」の看板も、ハンコでよく使われる古 コのモニュメントが造られました。駅の「ト 旧・六郷町は、「日本一のハンコのまち」。



昭和2(1927)年、身延線に甲斐岩間駅が開業。駅名は、駅舎が建てられた土地(旧・岩間村)の名を取った。 しかし、「岩間駅」という名は、すでに茨城県の常磐線にあったため、岩間の頭に「甲斐」を付けて、「甲斐岩間」となったという。

栄えてきた。

る)の宿場町でした。 岩間宿は、河内路(後に駿州往還と呼ばれ

はなくなりました。
はなくなりました。
さい、往時の面影が出り、はいるのでである。
はなくなりました。
はなくなりました。
はなくなりました。
はなくなりました。
はなくなりました。
はなくなりました。

飲食店などが並んでいます。

を中心に酒屋、食料品店、薬局、衣料品店、

延線」の南北一キロが商店街です。印と、これに直交する県道「市川ー下部

現在は、甲斐岩間駅から西へのびる道路



[河内路(駿州往還)] 甲斐府中から布施(旧・田富町)、旧・市川大門町を通り、南部町から駿河に至る富士川沿いの道。 岩間宿は、武田氏時代に伝馬宿として設けられ、通信や貨物の中畿をする宿場だった。

甲斐と駿河を結ぶ駿州往還の宿となったのは近世である。



【岩間足袋のその後】

大正時代になると、家内手工業による岩間足袋は、県外の「補助」、「朝日」などの機械作りによる大企業製品の進出で、次第に衰退していった。 同時に、この地方特産の藍の栽培も化学染料の普及で減少し、染め足換も姿を消した。足袋製造者は、その後は水晶加工や印章販売に転業し、 現在の「ハンコの町」の繁栄を築くことになる。

掛けてあります。 労働者には懐かしいブランド「世界長(せ 草履掛け(鷹匠様足袋)と屋内履きの岡足 袋が造られていました。岩間村周辺では、 年代後半から四十五年頃までは盛んに足 うになったのは、最近のことで、明治二十 旧六郷町が「ハンコの町」と言われるよ

かいちょう)地下タビ」のホーロー看板が 履物店を続けてきました。入口には、屋外 駅前にある池川履物店は、明治中期から

こさせてくれる雰囲気を持っています。 袋は「岩間足袋」と呼ばれ、県内では人気が ある商品でした。 池川履物店は、旧六郷町の歴史を思い起

袋の製造が盛んだったのです。これらの足



の電話番号です。

駅前にある「岩間タクシ 電話番号は10番ではない。

ります。 板文字で「岩間タクシー 電話10番」とあっている。

を設立したのです。電話10番は、その当時有限会社」として乗り合いタクシーの会社を購入しました。そして、甲斐岩間駅を起た。するタクシーの営業を開始します。当時は、自動車が珍しかったため、車を休まかし、戦争で車が軍に徴用されて廃業。戦かし、戦争で車が軍に徴用されて廃業。戦かし、戦争で車が軍に徴用されて廃業。戦がし、戦争で車が軍に徴用されて廃業。戦がし、戦争で車が軍に徴用されて廃業。戦がし、戦争で車が軍に徴用されて廃業。戦がは、対策を開始しませ、名間対の遠藤財産、対策をは、その当時を設立したのです。電話10番は、その当時を設立したのです。電話10番は、その当時を設立したのです。電話10番は、その当時を設立したのです。電話10番は、その当時を設立したのです。電話10番は、その当時を設立したのです。電話10番は、その当時を設立したのです。電話10番は、その当時を設立したのです。電話10番は、その当時を設立したのです。電話10番は、その当時を設立したのです。電話10番は、その当時を設立したのです。電話10番は、その当時を設定している。

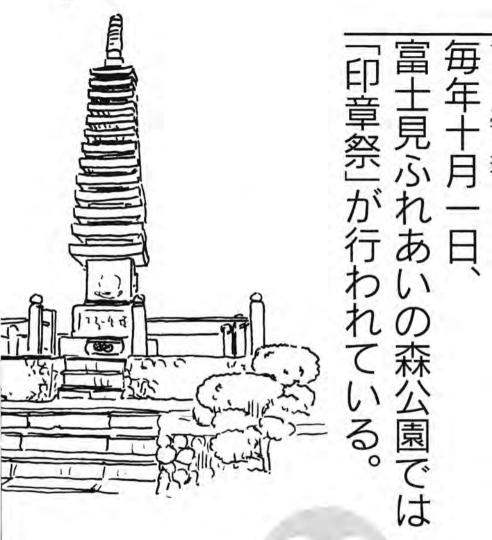


町おこし事業の

原木がある。

です。
(縁起の良い木)として珍重されている木とから、この名が付きました。昔から霊木れてしまうほど硬い樺(カンバ)であるこれてしまうほど硬い樺(カンバ」は、斧も折ちなみに、「オノオレカンバ」は、斧も折





【印章の日】

毎年十月一日の「印章の日」に開催される印章祭。印章祭は、印章の塔」では、一方れなくなな、この世、一日は、中成十七(二行われます。この供養神事は、古式に従った印鑑を焼納供養する「印章供養祭」がった印鑑を焼納供養する「印章供養祭」がった印鑑を焼納供養する「印章供養祭」がった印鑑を焼納供養する「印章供養祭」がった印鑑を焼納供養する「印章の人となっています。となっています。となっています。となっています。した日です。

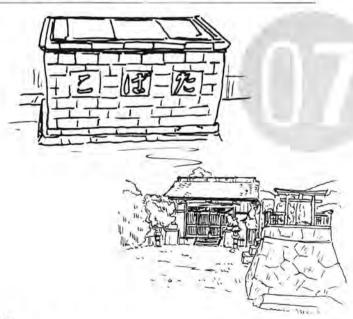


【富士見ふれあいの森公園】 富士山を就望できる公園。圏内に広がる山林には、パーベキュー場やフィールドアスレッチックなど 九施設を持つイベント広場がある。全長八十メートルのローラーすべり台も設置されている。 ここで映画「休暇」の撮影が行われた。「休暇」は、県内で初めて全シーンが撮影された。

金比羅神社に移されました。

したね。 た。むかしはこんなたばこ屋さんがありま こ売り場の土台の部分が残されていまし に「たばこ」と書かれたタイル張りの、たば た家や商店がいくつもあります。右から左 商店街には、明治・大正・昭和に建てられ

沿いにありましたが、道路改修工事の際に ものです。道祖神は、かつて旧・河内路の道 祖神」と書かれた額を掛けた鳥居は珍 に三基の双体道祖神が祀られています。「道 に、金刀比羅神社があります。境内の 甲斐岩間駅から役場方面に向かう途中 一画

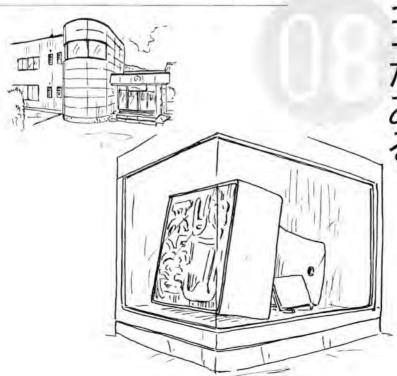


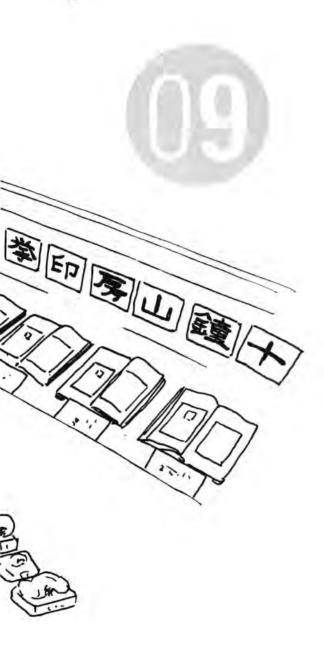
【遊祖神】

-般に金比羅社は大物主(おおものぬし)の神が本地垂迹(ほんじすいじゃく/人々の教済のため、 仏から神へと姿を変えて現れること)したもので、江戸期には民間信仰として隆盛をみた。楠甫(くすほ)地区にも金比麗社がある。

、たちの手によって作られた、 コがある。

「不動如山」と刻まれた世界一大きなハンコが地場産業会館の入口に展示されています。武田信玄の幟旗(のぼりばた)であいます。武田信玄の幟旗(のぼりばた)であいます。武田信玄の幟旗(のぼりばた)であいます。武田信玄の幟旗(のぼりばた)であいます。武田信玄の幟旗(のぼりばた)であいます。武田信玄の幟旗(のぼりばた)であいます。武田信玄の幟旗(のぼりばた)であいます。武田信玄の幟旗(のぼりばた)であいます。武田信玄の幟旗(のぼりばた)であいます。武田信玄の幟旗(のぼりばた)であいます。本語が大きなものです。地元の刻字作家・望月文大きなものです。地元の刻字作家・望月文大きなものです。地元の刻字作家・望月文大きなものです。地元の刻字作家・望月文大きなものです。地元の刻字作家・望月文大きなものです。地元の刻字作家・望月文大きなものです。地元の刻字作家・望月文とは、本語を表示された世界一大きなハースを表示された世界一大きなハースを表示された世界一大きなハースを表示された世界一大きなハースを表示された。





見ることができる。印譜集『十鐘山房印 界に七つしかる場産業会館の 二房印学(じゅっしょうさんぼういんきょ)』を 現存しないの印章資料館では、



資料館には、『十鐘山房印挙』をはじめ、



譜集です。中国の印章コレクター・陳介祺 なものだそうです。 の本は、十セットしか作られなかった貴重 ました。一つ一つの印影を押して綴ったこ 集として百九十一冊からなる本に編集し を集めたものです。それを清朝時代に印譜 集した古代中国の銅印一万三百七十六種 (ちんかいき)という人が、生涯をかけて収 『十鐘山房印挙』は、古代中国の銅印の印



ハハ日ン本ココー 、ンコ屋が見当たらない? 各種印材の製造、加工、印材卸売、印章ケー者が自宅で製造しているからです。町には、 をと、足袋の行商をしていた人たちは、その営業力を生かして、印鑑は受注生産のため、 の営業力を生かして、印鑑の注文を取るようになりました。印鑑は受注生産のため、 がとなっていったのです。六郷地域だけで地となっていったのです。六郷地域だけでます。





地」となっているのです。 業で行われ、町全体が一大印章産業の「団ざまな業者がいます。それぞれの工程が分ス製造、表札製造など、印章に関わるさま



印章ができるまで

印章は、文字や図形を木や石に彫りつけ

材に彫る木口(こぐち)印刻があります。ま 類印刻と、象牙、水牛、角、柘(つげ)等の印 たものです。この彫りつける手法が「印刻」 た氏名や屋号を表札や看板に彫ることも で、水晶、めのう、ひすい等の印材に彫る石

す。篆刻された印鑑のほとんどは書や色紙 という古代中国の特殊な字体が使われま 篆刻」は、使用書体のひとつで、篆書体

た。現在は、機械彫りやゴム印製造など多 に捺印するために使われます。 なると六郷のハンコ製造に導入されまし 山梨の主要産業だった水晶も、明治期に

様な印刻が行われています。

〇石類印刻の手順

分差(ぶさし)を使い、鉛筆で字割りをする。 木製彫刻台に印材を挟む。

朱墨で字入れ(左文字/裏文字)。

印材の側面のキズを防ぐためにテープを巻く。

墳砂機で彫る。

平刀などで字直しを行い仕上げる。

○木口印刻の手順

含まれています。

サンドペーパーで印材を平らにする。

木製彫刻台に印材を挟み、鉛筆で字割りをす 印面に朱墨を塗る。

墨で字入れ(左文字/裏文字)。

る

を正しくする。 再度、サンドペーパーで印面をこすり、削り口 ペンシル型彫刻機で荒彫りする。

彫刻刀で文字の仕上げを行う。 朱墨(墨)をつけ、細部を確認。 す。

屋・春港堂(いゅんこうどう)には、

弾いかのかが、型消火器」が残って





組合の建 、最優秀賞をとつた。

当時のまま。社員の休憩場所は畳敷きの小物とは思えないものです。社長室のドアは、信用組合」の看板がなければ金融機関の建合の社屋として使用されています。「山梨に開組合の家でした。戦後の建築ですが、なま村長の家でした。戦後の建築ですが、なま山梨信用組合の建物は、もとは六郷村の山梨信用組合の建物は、もとは六郷村の

部屋です。



ています。その後は読み取れません。これ

に確定する。 六地蔵横の 幢の 「平」字が

かつて、道祖神場は岩間宿の南端にありま に、下宿の道祖神が祀(まつ)られています。 した。宿場南端の鉤の手になっていた道の 山梨信用組合の向かい側の空き地の奥

手前に用水堰(せぎ)があり、左側に道祖神、

六地蔵の裏にある石幢に「平」字が刻まれ 状の台の上に鳥居付きで祀られています。 神場に安置され、三体の双体道祖神は石垣 は、道祖神・六地蔵ともに屋根付きの道祖 右側に六地蔵が立っていたそうです。現在 に平治元年の作なのです。 作ということになります。「平」で始まる年 が紀年銘の一部だとすれば、「平治元年」の は翌年に永暦に改元されたので、あきらか 号は平治と平成だけです。しかも平治元年

が祀られています。この近辺がかつて多く には「水神」と刻まれた水難祈願の石造物 手は、峡南橋東詰まで続いています。途中、 の水害に見舞われたことを物語るもので 西側に堰(せぎ)があり、堰の東側の草むら |梨信用組合の西側にある山田川の土

す。

んでみませんか。



た。

楠甫地区と西島村岩崎を結ぶ渡し場でしう公的な渡船場がありました。こちらは、

橋ができる前

橋です。県内で富士川に架かる橋の中では、一峡南橋は、岩間下町と身延町西島を結ぶ一



西島)へ行く人のために、鴨狩(かもがり)頃まで、富士川を渡って西島村(現・身延町

最大規模のもの。昭和二十五(一九五〇)年

西島町)がある所には、「岩崎の渡し」とい村に渡船場がありました。また、月見橋(旧・



鴨狩隧道(かもがりずいどラントンネル)」内では、ゴツゴツ た岩肌を見ることができる。

時代を感じさせる隧道です。
ままの隧道です。薄気味悪さもありますが、
を右に折れて百メートルほど先に鴨狩
こを右に折れて百メートルほど先に鴨狩
手に高前寺入口を示す石碑があります。こ
峡南橋から久那土方面に向かう道の右

の由来となっています。 地区。富士川がつくる沼沢地は、富士五湖地形。富士川がつくる沼沢地は、富士五湖地区。富士川と三沢川段丘に広がる地域です。 この一帯が鴨狩津向(かもがりつむぎ)



作ってみませんか。

気分で作品を作ることができる。 むぎ窯」では、 、陶芸家になっ

元である鈴木美枝さんのギャラリーも併む、二階の客間の壁は、フレスコ画(漆喰がも、二階の客間の壁は、フレスコ画(漆喰がい、二階の客間の壁は、フレスコ画(漆喰がいっています。窯は、大川の大田の手法)に

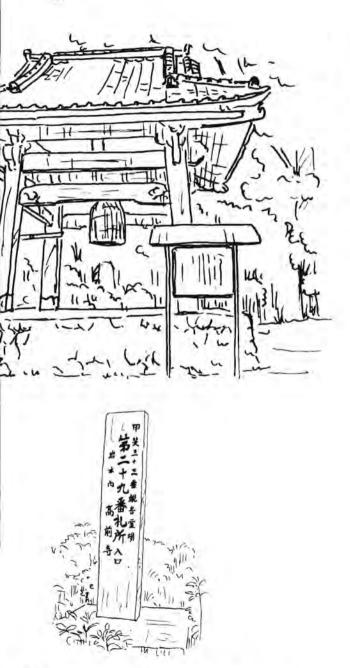
のどかな雰囲気の中で自分だけの陶器をまな表情に感動し、作品を創作しています。鈴木美枝さんは、自然と土のもつさまざ設されています。



上の根張りは、植物生態学的にも珍しいもの根が石仏を抱きかかえているようにもの根が石仏を抱きかかえているようにも見えます。このため子授けや安産の神とし見えます。このため子授けや安産の神としくが、一般に分かれていることから「双幹(そな大きな欅(けやき)があります。この欅は、な大きな欅(けやき)があります。この欅は、な大きな欅(けやき)があります。この欅は、な大きな欅(けやき)があります。よりでは、地面を這うようがあります。

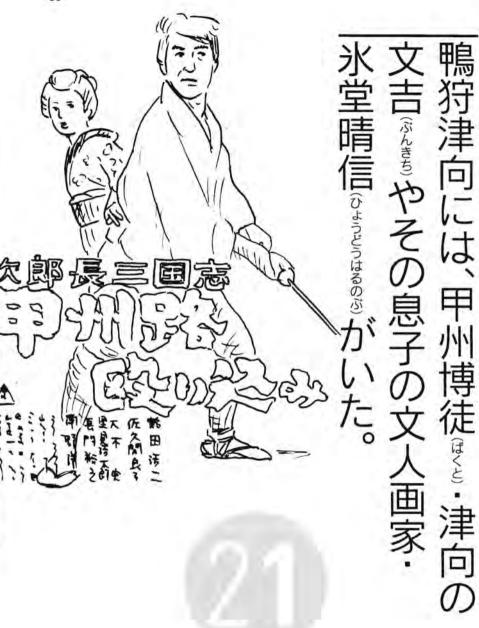
のだそうです。





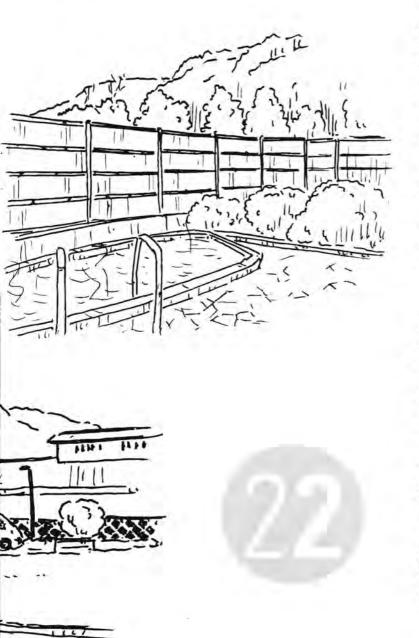
【高前寺】 甲斐国三十三番製音霊場の第二十九番札所。高前寺の本尊は、聖観世音菩薩。 行基が本栖の里に来たときに衆生教済のために彫った三体のうちの一つだと伝わっている。 





に長け、津向を拠点に渡り絵師となり、「氷さました、津向を拠点に渡り、毎日となりましたが、流罪中も寺子屋で子どもを教え、医術が、流罪中も寺子屋で子どもを教え、医術が、流罪中も寺子屋で子どもを教え、医術が、流罪中も寺子屋で子どもを教え、医術が、流罪中も寺子屋で子どもを教え、医術が、流罪中も寺子屋で子どもを教え、医術が、流罪中も寺子屋で子どもを教え、医術が、江戸にいた栄吉を次郎長と深い付き合いに長け、津向村に清水の次郎長と深い付き合い津向村に清水の次郎長と深い付き合い

ました。として、明治期に南部町や鳴沢村で活躍し堂晴信」と名乗りました。晴信は、文人画家



六郷 でなく、 しめる。

も一興。

す。雑穀の粉の中へあんこを入れて蒸した

「あんびん」という郷土食もあります。

山間の静かな温泉で、くつろいでみるの

元で採れた季節の野菜が販売されていまは、単内外から多くの人たちが訪れていまり、県内外から多くの人たちが訪れていまり、県内外から多くの人たちが訪れています。料金は、町外者は三時間・三百円)と低料金。 併設された「いきいきセンター」では、地イで採れた季節の野菜が販売されていまった「いきいきと漆喰(しっくい)の白壁が美元で採れた季節の野菜が販売されていまったで採れた季節の野菜が販売されていまった。



wagamachi-guide book

市川三郷町六郷編

日本一大きなはんこを見て、 昭和の木造建築を訪ね、 つむぎの湯でぼっかぼか

発行 市川三郷町役場

T409-3601

山梨県西八代郡市川三郷町市川大門1790-3

TEL 055-272-1102

FAX 055-272-2525

URL http://www.town.ichikawamisato.yamanashi.jp

企画 株式会社サンニチ印刷

編集 特定非営利活動法人つなぐ(つなぐNPO) 「まちミュー友の会」

印刷 NPO法人つなぐ・ほんほん堂

発行日 2008年1月19日

発行:市川三郷町役場

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門1709-3 TEL 055-272-1102 FAX 055-272-2525

